

今年には播種後の高温・少雨により発芽率が低くなる、生育が遅れる等の影響がでています。
収量を確保するために以下のことに注意して収穫期をむかえましょう。

➤ 害虫の防除をしましょう。

○こまめなほ場の確認

○害虫(特に蛾の幼虫)を発見したら早めに防除

(防除の時期:

開花前、開花揃い、着莢期の3回が基本)

農薬(殺虫剤)

- ・スミチオン乳剤
- ・トレボン乳剤
- ・カスケード乳剤
- ・ディアナSC
- ・フェニックス顆粒水和剤

➤ 台風・長雨の対策をしましょう。

○排水路が排水口まで繋がっているか、ごみが詰まっていないか等排水対策ができているか確認

○台風などで浸・冠水してしまった場合は殺菌剤を散布して病気の予防

農薬(殺菌剤)は裏面へ

農薬(殺菌剤)

- ・ジマンダイセン水和剤(収穫30日前まで)
- ・トップジンM水和剤(収穫14日前まで)

※ジマンダイセンは収穫30日前までなので使用時期に注意！！

➤ 適期に収穫をしましょう。

○過乾燥防止、色艶の確保のため適期収穫を実施

- ・手獲り:10月中旬頃から3~4回
- ・スレッシャー収穫:11月上旬頃
- ・コンバイン収穫:11月中旬頃

(栽培こよみより)

※コンバイン収穫の際は泥を混入させないようにスピードに注意して実施しましょう。

➤ 急激な乾燥は避けましょう

○出荷時には水分含量が11%~15%

○急激、強烈、長期間の乾燥は過乾燥となり石豆増加の原因となるため避けましょう。

